

社会性昆虫シロアリ検知用電極の製作

熊本高専 湯治研究室
木原研究室

シロアリの行動データを自動的に収集できる新しい検知システムを開発した。静電容量変化を利用して、くし状電極（図1）上を行動するシロアリを検出する。本システムにより、迷路をどのように進むかといった行動データの取得し、多様なパターンでの解析ができることを目指している。

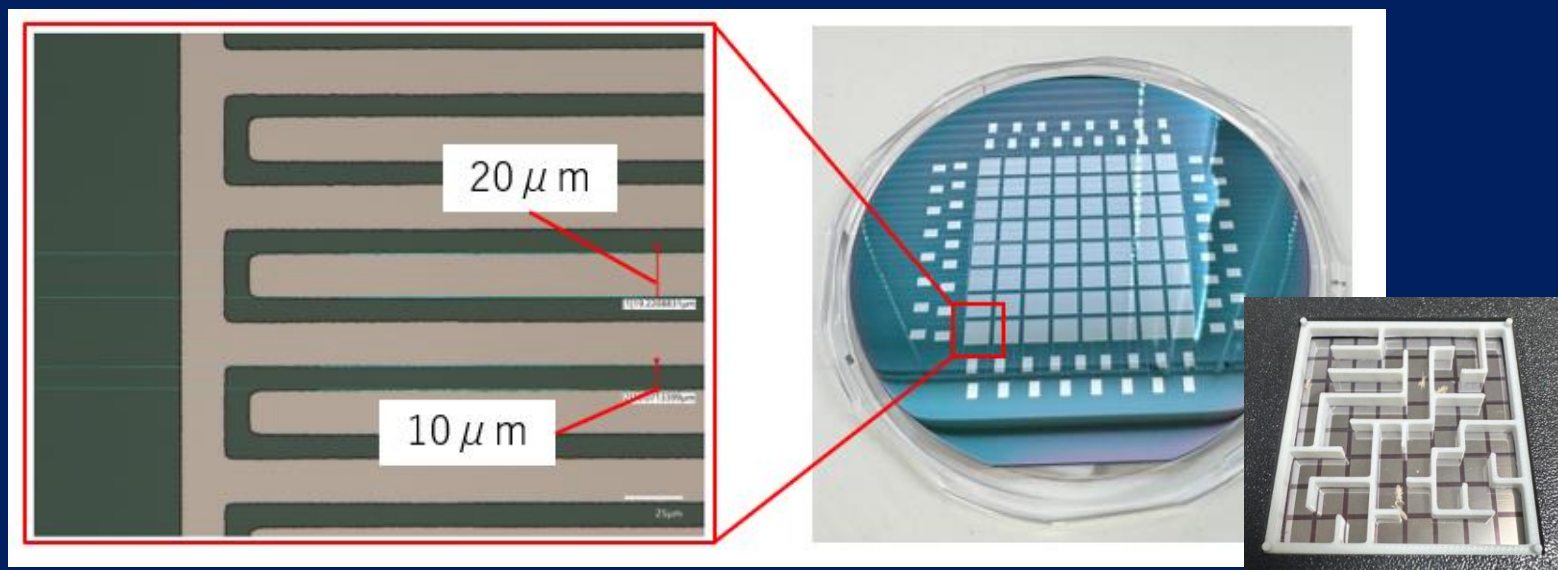


図1 AI電極付ウエハ基板（8×8のマトリクス）

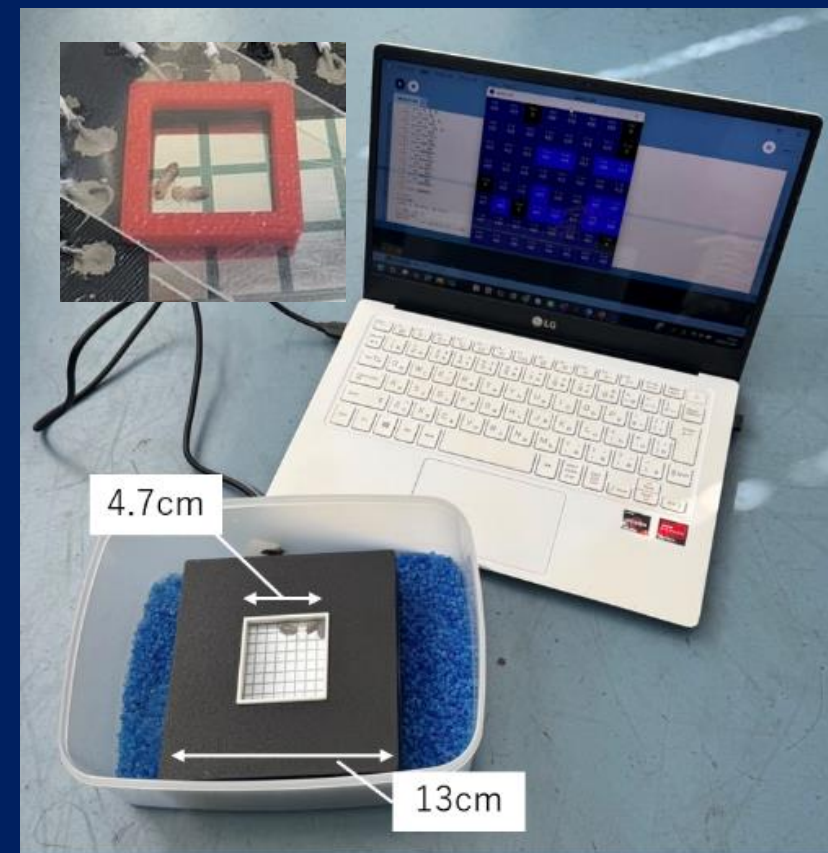


図2 検知システム

学会発表

松嶋，木原，湯治，第42回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム，12P2-PS-22（2025）

外部資金

JSPS科研費 挑戦的研究（開拓）JP24K21223（2024年6月-2028年3月）